

年 組 名前:

障害者育てた野菜でプリン



障害福祉サービス事業所「たいよう」と県が商品化した、自家製野菜を使ったプリン
＝南アルプス市和泉

南アの事業所と県 商品化、店などで販売

南アルプス市和泉の障害者福祉サービス事業所「たいよう」と県は、利用者が育てた野菜を使ったプリンを商品化した。事業所が運営する飲食店などで販売し、利用者の就労意欲の向上につなげる。

南アルプス市和泉の守屋若奈さんがアドバイザードバイザードとして開発をサポートした。いずれも1個300円。事業所が運営する飲食店「そののね」（同市和泉）のメニューとして提供して、道の駅富士川や市内で開催されるマルシェなどでも販売している。

県が2019年度から実施する農福連携6次産業化アドバイザード派遣事業を利用して企画し、料理研究家がプリンにのせることで食

ソウ、サツマイモの3種類を作った。ペーストを生地に混ぜたほか、小さく刻んでプリンにのせることで食

今後、季節に応じて旬の野菜で新作プリンを作っていくという。事業所の利用者で開発に携わった中込翔多郎さん(40)は「プリンを作る中で料理の奥深さや楽しさに気づくことができた。みんなで一丸となって作るのだから、皆さんの食べてもらいたい」と話した。

〈飯野終平〉

(2026年4月15日付 山梨日日新聞 14面)

問1 障害福祉サービス事業所と県が、利用者が育てた野菜を使ったプリンを商品化し、

販売している理由を教えてください。

.....

問2 どのような野菜を使ってプリンを作りましたか。

.....

問3 今後は、どのようなプリンを作っていくことを考えていますか。

.....